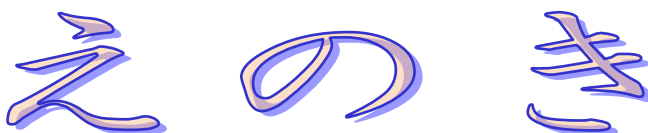




吉川市立旭小学校



あかるい笑顔 さわやかな汗ひとみ輝く

令和5年1月30日 発行

〒342-0006

吉川市南広島 1940

TEL.048-991-2156

学校教育目標
あすを生きる
豊かさ学ぶ
あさひの子

節分～心の中の鬼退治～

校長 栗原 元一

1月往ぬる（いぬる・行く）2月逃げる3月去ると言われます。これは、お正月から3月までは行事が多く、あっという間に過ぎてしまうことを調子よく言ったものだそうです。学校はこれから卒業証書授与式や修了式まで、本当にあっという間に過ぎていきます。だからこそ、1日1日を大切にしながら、過ごしていきたいと考えています。

さて、逃げる2月には「節分」があります。その節分について、調べてみました。

「節分」という言葉には、季節を分けるという意味があります。暦の上で、節分（今年は2月3日です。令和4年は2月2日でした。）の翌日が「立春」で、春になります、という日です。ですから、節分は「冬と春を分ける日」ということになります。昔の日本では、春は1年のはじまりとされ、特に大切にされていたそうです。

ところで、節分というと「豆まき」を思い浮かべます。これは、「みんなが健康で幸せに過ごせますように」という意味をこめて、悪いものを追い出す日とされているからです。悪いものを追い払い、良いものを呼び込むために、豆をまきます。

では、なぜ、鬼を追い払うのでしょうか。鬼と聞いたら、つのが生えた赤や青の怖い姿を思い浮かべることが多いと思います。実は、鬼の姿は決まっていませんでした。もともとは見えない悪いものを鬼と呼んでいたのですが、色々なお話を通じて、だんだんと今の形になったそうです。

続いて、豆まきの豆は、どうして大豆なのでしょう。その理由は、大豆には、たくさんの栄養が含まれているので、鬼を追い出す力がいっぱいつまっているからだということです。生のままの大豆ではなく、炒ってあるものを使います。これは、生のまま豆をまいて、もし芽が出てしまうと、せっかく追い出した悪いものが芽として出てしまい、育ってしまうといけなからだそうです。ちなみに、場所によっては落花生をまくところもあるそうです。

鬼はどこにでもいて、人々の心の中に入ってくることもあります。「泣き虫鬼、おこりんぼう鬼、やだやだ鬼、ちらかし鬼」など、色々な鬼が少し油断すると心の中に入ってきます。

もし、ご家族や地域の方々と「豆まき」をすることがあれば、皆様の中にいるかもしれない鬼も、まとめて追い払ってしまいたいですね。

旭小の子供たちが、心の中の鬼に打ち勝って、明るく元気に学校生活を送れるよう、今月も全教職員で見守り、応援・支援してまいります。

吉川市教育大綱

家族を 郷土を 愛し 志を立て 凛として生きてゆく

2月

生活目標

正しい
廊下歩行を
しよう

学年	男子	女子	合計
1年	12	8	20
2年	8	12	20
3年	8	8	16
4年	16	10	26
5年	11	14	25
6年	13	8	21
なかよし1	1	3	4
なかよし2	5	2	7
合計	74	65	139

避難訓練(不審者対応)を実施



教室にバリケードを作成して避難

日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	水	福祉学習：5年	15	水	授業参観・懇談会：1, 2年 がんばりウィーク
2	木	P T A 運営委員会 体罰調査配布	16	木	授業参観・懇談会：5, 6年 5, 6年5時間授業 6年性教育
3	金	支援担当訪問 特別日課5時間	17	金	授業参観・懇談会：3, 4年 4年5時間授業
4	土		18	土	
5	日		19	日	
6	月		20	月	
7	火	委員会⑧ 学校運営協議会	21	火	クラブ⑬ (最終回) ふれあいデー
8	水	図書ボランティア 体罰調査回収日	22	水	
9	木	スポーツタイム 体罰調査回収	23	木	天皇誕生日
10	金	中学校入学説明会 (東中学校は資料・動画)	24	金	スポーツタイム 東中学校見学：6年 集金通知配付 教育相談日
11	土	建国記念の日	25	土	
12	日		26	日	
13	月	音楽集会 がんばりウィーク	27	月	
14	火	授業参観・懇談会：なかよし 全学年5時間授業	28	火	委員会 (最終回)

デジタルシティズンシップ授業を実施



1月23(月)に1, 2年生、25日(水)に3～6年生を対象に、デジタルシティズンシップ授業を実施しました。これまでは情報モラル教育でインターネットの危険性を学んできましたが、これからはデジタル技術を正しく理解し、もっと便利で楽しく、幸せな社会生活が送れるように活用する力を身につけ、社会に役立てようという、ポジティブで積極的なデジタルの学びを目的として取り組んでまいります。

校内書きぞめ競書会を開催



1月11日(水)に校内書きぞめ競書会を開催しました。2学期末から練習を始め、冬休みも使って努力した成果を発揮しようと、長時間集中して作品を書く姿に成長を感じました。1, 2年生もフェルトペンを使ってペン習字に取り組みました。作品は教室前の廊下に掲示しています。ご来校の際にぜひご覧ください。

心あたたまるはがきコンクール

令和4年度より、教育委員会主催の『心あたたまるはがきコンクール』が始まりました。初回の今年度は、市内12校から約6500通の応募がありました。

12月22日の審査会では、素敵な葉書に囲まれて、審査員の心も温くなりました。応募してくださった皆さん、ありがとうございました。受賞者につきましては、追ってお知らせいたします。



『心あたたまるはがきコンクール』によせて 教育長 戸張利恵

コロナ禍で休校中であったある日、市内の児童から一通の葉書が届きました。行事が中止になってしまう淋しさと、私を気遣う言葉。そして散歩の途中で見つけたという大きな四つ葉のクローバーが貼ってありました。感激しました。

葉書だからこそ伝わる思いがあります。たった一言が受け取った人の心を温かくしてくれます。勇気をくれます。そして何よりも、葉書を書くときは相手のことを思い浮かべながら書きますね。市内小中学校の全ての児童生徒の皆さんが、それぞれ伝えたい思いを言葉にのせて葉書に書いてくれました。どれも心温まる素敵な葉書ばかりでした。ご指導くださった先生方、温かく見守ってくださったご家族の皆様に改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。

審査委員長総評（抜粋）

審査委員長 山川時彦

一枚一枚素敵な葉書をありがとうございました。書かれている短文、そこに添えられた絵からは、一枚一枚の葉書の主役がある日のある瞬間の「小さな気づき」であり、「かけられた言葉」だということが分かります。普段なら当たり前に見過ぎてしまいがちな、自分の周りの人たちへの感謝の気持ちが書かれた葉書を見ると、自分の思いを文字や絵にかいてみることの大切さに改めて気づかされました。力まずに素直に自分の心と向き合っていることが強く感じられました。

今年の1年生が、来年2年生になり、2年生は3年生になり・・・みんな一つ学年が上がります。そんな中、来年またこの葉書を書くときには新たな宛先になったり、同じ宛先でも伝える中身が変わったりすることでしょう。その変化そのものが成長のあかしだと思います。本当に素敵な6500枚の葉書たちでした。

お子様に関する相談については、吉川市少年センターまで。

吉川市少年センターでは、小・中・高校生や保護者の方々の悩みについてご相談をお受けしています。

＜学校に関すること・学習や進路・友達関係・いじめ・しつけ・非行・不登校など＞

電話相談 相談専用電話 981-3863

来所相談 少年センターへお越しください。（事前にご連絡ください。）

訪問相談 ご希望があれば、ご自宅へ訪問することもできます

2月分 学校行事等による登下校時刻のお知らせ

1 通常の下校時刻

学 年	月	火	水	木	金
1	14:45	14:45	14:45	14:45	14:45
2	14:45	14:45	14:45	15:40	14:45
3	14:45	14:45	15:40	15:40	14:45
4	14:45	15:40	15:40	15:40	15:40
5	14:45	15:40	15:40	15:40	15:40
6	14:45	15:40	15:40	15:40	15:40

2 行事に伴い、通常登下校時刻が変更される日

日 曜	変更を必要とする行事名	変 更 後 登 下 校 時 刻					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
3 金	特別日課5時間授業	14:10	14:10	14:10	14:10	14:10	14:10
14 火	授業参観・懇談会 5時間授業				14:45	14:45	14:45
16 木	授業参観・懇談会 5, 6年 5時間授業					14:45	14:45
17 金	授業参観・懇談会 4年5時間授業				14:45		

毎月21日を「ふれあいデー」として、働き方改革を推進しています。ふれあいデーの際には、職員が16:50に定時退勤するため、電話等に対応することができません。ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。